

みしま

今年最後 の 水遊び

写真/プール遊びをする小島葵くん、杏くん。お父さんの田舎に帰ってきました。三島の夏は短いので水遊びはそろそろ終わりの季節。朝晩の冷え込みにそろそろ秋の気配を感じます。

2011
9

広報みしま No. 222

特集

逆境を跳ね返す

夢と目標

震災、原発事故、風評被害、豪雨災害、不安定な経済情勢、政治の混迷、雇用問題など、新聞や周りの話題はこんなため息の出るニュースばかりです。先行きの見えない閉塞感を感じ不安な毎日を通す人も多いのではないのでしょうか。

しかし、私たちはこの現代で生きていかなければなりません。逆境の中で生きていく上で最も大切なのは夢と目標なのではないでしょうか。

写真のひまわりをご覧ください。西方の青木保雄さんの畑で桐の木に咲いたひまわりです。鳥が種を運んだのか、確かなことは分かりませんが、ひまわりは桐の枝の窪みから芽を出し花を咲かせました。本当は畑に芽を出した方が栄養を吸収できたかもしれませんが、木の上でも生きられるという活路を見い出しました。不平等を嘆くのは人間ばかりです。植物も動物も与えられた環境で精一杯生きています。本当の機会是谁かに与えられるものではありません。自分ですべて勝ち取るものです。

今年21人が成人式を迎えました。困難も多いかもしれませんが、しかし逆境こそ夢と目標をもった人が強い根を張れるはずです。また、新成人だけでなく夢と目標を持った人が町にはいます。そんな方々から勇気をもらおうと9月号では町の人の夢と目標を特集しました。夢と目標に年齢は関係ない。そう感じてもらえる事を願っています。



平成23年 三島町成人式

いつまでも
みずみずしい感性を

三島町成人式は8月15日、交流センター山びこで行われ、二瓶隆司町長から新成人21名に成人証書と記念品の桐の写真立てが手渡されました。二瓶町長は「長い人生には困難も数多くあるでしょう。大いに悩む事もあるでしょう。しかし苦しみからは喜びが生まれ、新しい人生が開けてきます。みずみずしい感性をいつまでも保ち生きていて下さい」と式辞を述べ

ました。また、角田伊一議長と小松正志教育委員会委員長が祝辞を述べました。新成人を代表して目黒健之さん(宮下)が「成人としての自覚と責任を持ち、精一杯生きていきます」と誓いの言葉を述べました。式終了後、生活工芸館スタッフの指導により、記念品として山ブドウのストラップを作りました。学生や社会人として、それぞれの道を歩んでいる皆さんの、光輝く未来を願っています。

平成23年度 新成人名簿

目黒健之	宮下	秦佑佳里	大石田
小柴烈志	西方	阿部わかば	桧原
中丸駿汰	会津坂下町	五十嵐綾	名入
二瓶公孝	西方	馬場なつき	大登
金田裕	滝谷	五十嵐理恵	高清水
鈴木文仁	滝谷	板橋なつみ	滝原
佐久間伸也	滝原	目黒理奈	滝谷
五十嵐裕也	宮下	五十嵐恵	西方
阿部陽水	桧原	山口あかね	桧原
青木良平	西方	大竹沙紀	滝谷
小松薫明	西方		

平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ

新成人だけじゃない！町で頑張る人の夢

夢を持って仕事に励む渡部三穂さんに聞きました



三島でも癒やしの場を作りたい
そこから活気づいてくれたら
良いですね！！

渡部三穂 さん（荒屋敷）

—— 今一番頑張っている
事は何ですか
仕事です。今年の2月か
ら、会津若松市のボディケ
アとリラクゼーションの店
で働いています。毎日楽し
く仕事をしていますよ。

—— 将来の目標や夢はな
んですか
まだ、ざっくりとした目
標ですが、三島でもボディ
ケアやリラクセスができる
店が出来たらいいなあと
考えています。癒やしの場
をぜひ三島にも作りたいで
す。そこから雇用の創出や
町の人に元気を発信できた
ら最高ですね！

—— 最近は災害続きで世
の中が暗くて、なかなか前
向きな気持ちになるのは難
しくはありませんか
確かに、地震やら豪雨や
ら災害ばかりでうんざり

しました。でも、起きちゃっ
たものは仕方がない。深く
考えてもしようがないじゃ
ないですか。一度すべて受
け入れて、いらないものは
一つ一つ取り除いていけば
いいのだと思います。無い
ものねだりや、いつまでも
マイナス面を見ているも駄
目。大切なのは一つ一つの
事を積み重ねることではな
いでしょうか。私でいえば
一人一人のお客様を大切に
することです。

—— これからの町にどん
な事を期待しますか
私は家も三島も大好きで
す。ただ、何をやるにも人
がいないのが寂しいです。
みんな自分の事で大変です
が、全体的にもっと活気が
欲しいですね。活気を出す
ためには、やはり癒やしの
場は必要ですね。

これからの時代をつくる！新成人の目標

新成人の大竹沙紀さんに聞きました



仕事が今の目標
お客さまのために
これからも頑張ります！

大竹沙紀 さん（滝谷）

—— 新成人として、将来
の夢や今後の目標を聞かせ
てください
今年の4月から、県内の
自動車ディーラーで営業の
仕事をしています。常に、
お客さまに満足していただ
くことを目標として仕事に
取り組んでいます。CS（顧
客満足）は決してすぐに成
果として表れるものではな
く、わかりにくいものかも
しれません。しかし小さな
積み重ねが、いずれお客さ
まの購入意欲に繋がると信
じています。これから先、
何十年も頑張っていくこと
が今後の目標です。

—— 今一番頑張っている
ことはなんですか
仕事です。車に関する知
識を、より多く身につけよ
うと頑張っています。一番
苦勞していることは、お客

さまが来店されてから、商
談に至るまでの過程をス
ムーズに進める事です。一
人一人のお客さまの要望に
応えることはとても難しい
事です。営業という仕事は
人が相手であるため、様々
なことに気をつけなければ
なりません。自分の言動や
行動の一つ一つがお客さま
の評価の対象になりますか
ら。自分の対応一つでク
レームに繋がることもある
ため、常に気配りが欠かせ
ません。大変なこともあります
ますが、その分とてもやり
がいを感じています。

今、楽しく前向きに仕事
をしています。これからも、
お客さまのお役に立てるよ
うにがんばります。

三島町敬老会

9/7^⑦ 水

午前 10 時 30 分から式典開始

会場／生涯学習センター カタクリ体育館



＜演芸プログラム＞

午前 11 時 15 分から

1. 三島保育所園児による遊戯

『ビービー仮面』 ばら組 10 人

江戸の華より『火消し』 ほし組 5 人

2. 山木屋太鼓（川俣町）

トランペットと和太鼓のコラボ演奏会

◎川の流れのように ◎愛さんさん ◎大地「源命」(みなもと)

◎涙そうそう ◎和の心 ◎新相馬節～会津磐梯山

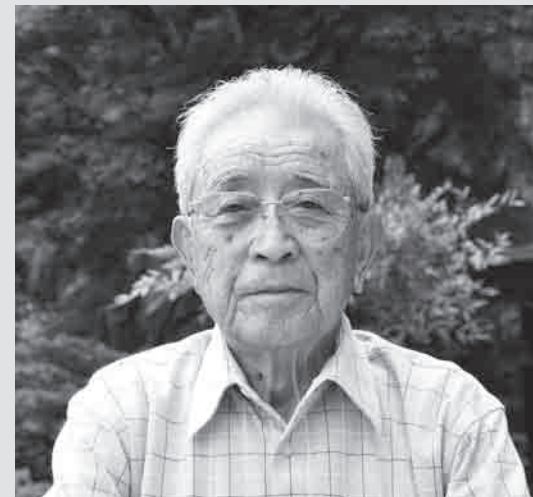
◎夜空のトランペット

3. 三島町太神楽保存会

長獅子 他

若い人だけじゃない！先達の目標

今年米寿を迎える、小柴義一さんに聞きました



夢や目標は若い人だけの
ものではない

歳をとっても目標が大切

小柴義一 さん（西方）

——今年で88歳を迎える小柴さん。今も元気に農業やグランドゴルフなどをされているそうですね

健康でいられることを一番大切に考えています。特別なことはしていませんが、食事を毎食きちんと取り、暴飲暴食をしないように気をつけています。また、毎日田や畑仕事をしていますが、歳を考えると無理はせず、体力や年齢に合った仕事をしています。その他、グランドゴルフやサロンなどに積極的に参加して、家に閉じこもらないように外で交流する事も大切にして

——小柴さんの夢や目標はなんですか

健康に過ごす事が一番の目標ですね。健康でなければ何も出来ないから。それから、田や畑については毎日、目標を持って仕事をしています。いい米や野菜が採れるように、今日はあれ

をやるう、明日はこれやろうと毎日考えています。骨を折って、思い通りに収穫出来た時は本当に嬉しいですね。成し遂げる喜びを感じます。そして稲刈りが終わったら、夫婦でどこに旅行に行こうか考える事もとても楽しみであり、目標です。そうやって楽しみや目標をみつめて、毎日過ごすことが健康にも繋がっているのだと思います。

また、自分だけでなく、地区の人みんなが健康で仲良く過ごせるのが大きな目標です。お互いに励まし合い、助け合って、自分たちの身は自分たちで管理する。そして若い人達の負担を減らしたら、と思っています。

歳をとって、大きな事業を成し遂げようと思っても無理ですが、小さな目標を毎日積み重ねることは、歳に関係なく大事なことです。歳をとったからこそ大切なのかもしれません。

●編集を終えて
今回の特集はまだ終わりではありません。特集の締めくくりは、町民の皆さん一人一人が、それぞれの夢をかなえ、目標を達成した時に初めて完成します。町でも、現在直面している課題に対して、町の振興計画に沿って実施し、その成果を今後の広報で紹介したいと考えています。

逆境こそ夢や希望が大切だと記載しましたが、逆風（向い風）と言い代えることが出来ます。追い風の時に前に進むのは楽かもしれませんが、しかし、より高く飛ぼうとした時、向い風が必要なのだそうです。

広報では、皆さんの夢と目標について今後も取材をしたいと考えています。どんな夢でもかまいません。どんな小さな目標でもかまいません。そしてかなった夢や目標があればさらに大歓迎です。いつでも取材に伺いますのでご連絡をお待ちしています。

特集「逆境を跳ね返す夢と目標」終わり



町民運動場での練習に集まった選手のみなさん

応援よろしくお願いします 市町村対抗軟式野球大会 三島チーム

町では市町村対抗軟式野球大会に今年も参加することになりました。三島町チームは毎週月・水・金曜日に町民運動場で練習を行っています。選手もまだ募集していますので、ぜひ練習にご参加ください。なお、初戦は9月24日㊤、県営あづま球場で新地町と対戦します。ぜひ町民の皆さんの熱い応援をよろしくお願いします。



宮下温泉栄光館でのボランティアの様子

力を合わせて復興のお手伝い 小和瀬地区、宮下温泉栄光館でボランティア

7月末に発生した豪雨の影響で只見川があふれ、宮下温泉栄光館と桐の湯、小和瀬の1世帯が床上浸水の被害を受けました。町では社会福祉協議会や商工会が主体となり、小和瀬地区や栄光館で堆積した土砂の撤去や家具の洗浄を行いました。それ以外にも個人でボランティアに参加された方もあり、多くの方々が参加しました。



お盆期間中パトロールを行った防犯指導隊と駐在所の方々

お盆休み中防犯パトロールを実施 防犯指導隊と三島駐在所

お盆休み期間中、防犯指導隊と駐在所では夜9時から防犯パトロールを実施し、町内を巡回しました。お盆期間中、町では帰省した方々などで人が増えます。またお酒を飲む機会が増えることから、事件や事故を未然に防ぐために毎年行われているものです。皆さんの活動のおかげで、お盆期間中も安心して過ごすことが出来ました。



たくましく日焼けした児童全員が登校した始業式

夏休みも終わり 三島小・三島中で2学期始業式

三島小と三島中の始業式は8月25日に行われ、子どもたちが元気に登校しました。三島小では一人の欠席者もなく、みんなが顔を揃えました。佐藤新治校長は「一つ一つの事を全力でやり抜くこと。自分で考え、工夫する力を身につけること。学校だけでなく家や地域でも実践出来るようにしてください」と話しました。



ロープを使って高い枝まで登った子どもたち

高い枝まで登れたよ 「桐の子隊」美坂高原でツリーイング体験

桐の子隊によるツリーイング体験は8月9日に美坂高原で行われました。資格を持つ指導者の皆さんにご協力頂き、子どもたちはロープとハーネスを使って木に登りました。木の枝までは地上約10mほどあります。自分の力だけで登り、木の上から最高の見晴らしを楽しみました。木登りの後はそろってお弁当を食べ、夏休みの思い出を作りました。



西方地区の墓参りの様子

お盆の墓参りで先祖を供養 遠方の家族も顔をそろえる

墓参りは、各地区で8月13日の夕方や14日の朝方に行われました。当日は離れて生活する家族もふるさとに戻り、先祖の墓に線香を上げ、手を合わせました。正月は雪の影響で帰省できない方々も、毎年お盆には帰省する方が多いようです。家族みなさんで、先祖や亡くなった人たちが苦しむことなく成仏してくれるように供養をしました。



8月29日に開通した国道400号線

西方地区待望の道路 祝開通 国道400号西方バイパス8月29日開通

平成6年から工事を開始した国道400号線西方バイパス(1,120m)が8月29日に開通しました。今後は西方地区内を経由せずに西会津方面に抜けることができるようになりました。以前よりスムーズに走行出来るようになりますが、スピードの出し過ぎには注意し安全運転で通行をお願いします。



生活工芸館で山ブドウストラップ作りを体験する様子

町内の史跡と伝統工芸を学ぶ 小中学校教職員による史跡めぐりと工芸体験

小中学校の教職員を対象とした史跡めぐりと工芸体験は8月23日に行われ、12名の先生方が参加しました。滝谷地区の宿場町風景や小館山などをめぐりました。また大登の二瓶新永さんのお宅で、編み組細工の見学をしました。中には初めて編み組細工を見た先生もいて、皆さん興味津々だったようです。また生活工芸館では山ブドウのストラップ作りを体験しました。



写真上 _ 新宿ワシントンホテルで開催された物産展。生野菜が特に人気があった。写真右側の男性は埼玉県在住の瀧澤和也さん。「少しでも会津の力になれば」と話してくれた
写真下 _ 会津地鶏みしまやは飯田橋のホテルメトロポリタンエドモンドで行われた夏まつりに出展した。大勢のお客さんが来場し、用意した焼き鳥はすべて売り切れる大盛況だった

がんばろう
福島・三島
まげえねぞ〜

風評被害に負けるな 東京で復興支援イベント

福島第一原子力発電所の事故の影響による風評被害が深刻になる中、各地で復興支援イベントが行われています。三島町からも各地に出向き、地場産品の販売や観光PR活動を行っています。

新宿ワシントンホテル「東北と東京の絆」東北物産展での復興支援ブースに出展
セントラル総合サービス株式会社とワシントンホテルが主催した「東北と東京の絆」東北物産展は8月1日から5日まで開催され、三島町では2日に出席しました。町からは道の駅尾瀬街道みしま宿(会津地鶏みしまや、J A会津みどり三島山菜加工場、会津桐タンス(株)が参加し、野菜、山菜、山菜加工品、地鶏カレー、桐製品などを販売しました。ホテルに昼食を食べに来た方々や宿泊客が訪れ、三島のブースでは新鮮な、そうめん南瓜などの野菜類や味噌の加工食品などが、特に人気がありました。

また、会場には首都圏三島会の方々など、豪雨災害後の三島を心配する方が多く訪れ、元気な三島町をアピールする良い機会となりました。埼玉県から駆けつけてくれた瀧澤和也さんは、「三島町には縁もゆかりもないけれど、豪雨被害をニュースで知りました。自分も何か力になりたい」と話しました。

ホテルメトロポリタンエドモンドでの「夏まつり」で、ご当地グルメブースに有限会社会津地鶏みしまやが出展
当イベントは、8月2日に東京都千代田区飯田橋のホテルメトロポリタンエドモンドで行われ、多くの仕事帰りの会社員などで賑わいました。町からは有限会社会津地鶏みしまやが出展し、用意した焼き鳥800本がすべて完売するほどの大盛況でした。町では今後も、全国の消費者の方々に正しい情報を発信し、三島のファンを獲得していきたいと考えています。



写真右上 _ 郡山女子大附属高校マーチングバンド部の皆さん。体育館の中は蒸し風呂のよう。入ってすぐに汗が吹き出すほどの暑さ
写真左上 _ 会津高校合唱部のみなさん。きれいな歌声が響きわたった
写真左下 _ 学鳳高校演劇部のみなさん。玄関前で記念撮影

森の校舎カタクリの夏休み 小学生の体験学習や 高校生の合宿で賑わう



原発事故による放射能の影響で、子どもたちが屋外で活動できる環境が少なくなっていることから、県と県教育委員会では、夏休みに心身ともに伸び伸びと自然体験活動や交流活動等ができる機会を設けるため、「ふくしまっ子夏の体験活動補助事業」を提供しています。この事業を利用した県内の小学生の団体客や、カタクリを利用して合宿する高校生で、今年の夏、森の校舎カタクリは例年よりも大勢のお客さんで賑わいました。合宿の中には、合唱部やマーチングバンド部の生徒もいて、普段ならば静かで落ち着いた雰囲気のカタクリですが、この夏は、校庭で元気に遊ぶ子どもたちの声や、きれいな歌声、楽器の音色、そして時に、先生の熱の入った指導の声などが響き、活気が溢れていました。

郡山女子大附属高校マーチングバンド部では、部員35人が合宿に参加しました。三島町へ来た感想は「自然がいっぱいで、カタクリの料理もいっぱい、とても良かった」と話しました。ただ、虫が多い点はかなり困ったそうです。「合宿での目標は、部員一同心を合わせて絆を深め、レベルアップを図ること。そして、マーチングコンテストで全国大会へ出場したい」と、部長の添田瑞姫さんが話してくれました。顧問の平山雅浩先生は「全国大会出場も確かに目標ですが、何よりも自分たちにしかできない演奏をしたいです。そして部活を通して、人間力や連帯感、思いやりと気配りなどを学んで欲しいです」と話しました。生徒たちは、9月25日に郡山北工業高校で県マーチングフェスティバルに出場するそうです。

生徒たちのこの夏の頑張りが大会で報われることを願っています。

良い歯の学校 優秀賞

三島小・三島中そろって受賞

平成23年度県学校歯科保健優良校表彰式（第55回よい歯の学校表彰）は8月11日、福島市の福島テルサで開かれ、三島小学校と三島中学校が優秀賞を受賞し、表彰状と盾が贈られました。おめでとうございます。三島ではほぼ毎年小学校と中学校がそろって受賞していますが、同じ地区の小学校と中学校がそろって受賞するのは、他ではあまりないそうです。これからも口・歯の健康を大切にしてください。

三島小学校



賞状を持つ保健委員会委員長の阿部翔兵くん（滝谷）と盾を持つ副委員長の二瓶菜里さん（名入）

三島中学校



賞状を持つ保健委員会委員長の板橋恵さん（早戸）

応急手当推進事業所に認定

三島保育所



認定証を渡された三島保育所の矢澤源成所長（写真中央）

三島保育所は、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部消防長から応急手当推進事業所に認定されました。認定証の交付式は8月11日、会津坂下消防署で行われ、新井田順一署長から認定証が手渡されました。応急手当推進事業所とは、自動体外式除細動器（AED）を設置し、救命講習修了者が救急車が到着するまでの間、適切な救命処置ができる事業所をいいます。

警察署協議会委員に小松豊さん



会津坂下警察署協議会委員として、小松豊さん（西方）が選任され、県公安委員会から辞令書が交付されました。警察署協議会委員は、地域住民の代表として警察署長の諮問に応じ、意見を述べることで、警察署の業務運営に地域住民の意向を反映することを任務としています。小松さんの任期は平成24年3月までの1年間です。

着任された先生方の紹介

三島小学校・三島中学校に着任した教職員を紹介します。今年度は震災の影響で、教職員の人事異動が遅れていましたが、8月1日付けで実施されました。

三島中学校



職名	氏名	前任校	写真	真
校長	星 信 男	只見中	左から2人目	
教諭	青 津 伸 一	本郷中	左から3人目	
講師	佐 藤 純 子	裏磐梯中	左から1人目	
講師	小 林 靖 寛	柳 津 小	左から4人目	

三島小学校



職名	氏名	前任校	写真	真
教頭	伊 藤 博 子	(福島市立) 水原小	左から3人目	
教諭	菅 家 洋	一 箕 小	左から4人目	
教諭	渡 部 恵	白 河 第二小	左から2人目	
講師	横 山 大	高 郷 小	左から1人目	

マーカウイツ ダニエル先生

ALT（英語指導助手）に着任



8月1日から新しいALTにマーカウイツ ダニエル先生が着任しました。これまでALTは昭和・金山・三島の3町村合同で運営していましたが、今年度からは三島専任のALTになります。

高校でひらがなやカタカナを勉強しました。そして大学では、言語学を専攻し、日本語を本格的に学びました。高校と大学時代に日本へ留学しました。8月1日から三島町でお世話になっていきます。三島の人はとてもフレンドリーですね。町の風景もカナダに似ていて、カナダを思い出します。そのせいか、ちよつとだけホームシックです。

——町民のみなさんにメッセージをお願いします

——出身はどこですか
カナダ・アルバータ州のセントアルバータという町です。人口は5万人位の町です。
——日本語がとても上手ですが、いつから日本語の勉強をしているんですか
三島の人達ともっともっと友達になりたいです！日本語でも、英語でもたくさん話かけてください。一緒に話しましょう！私も日本語をもっと勉強して、皆さんとたくさん話せるように頑張ります。皆さんよろしくお願いします。

三島の民話
第六話
瓜姫

あるところにじー様とばー様がい
だど。子どもが出来なくて寂しく暮
らしていだど。じー様は山さ木切り、
ばー様は川さいつつものように洗濯
に行つたど。何げなく洗つていだら
川上から小さな小箱が流れてくつか
ら。「小箱きしよれきしよれ」。手で
カポカポひっぱつたれば、岸さ寄つ
たど。やれなんだべえと思つて蓋とつ
て見たれば瓜ひとつ入つていだど。
ばー様「これはよかつた。じー様腹
減らしてこべえがら二人で食うべえ」
と思つて家さ来たど。しばらくした
らじー様山がら来たど。「じー様早
くはいらせえ。腹減つたべえ。俺洗
濯しつたらおがしな箱流つち来たど
思つて拾い上げてみだれば瓜入つて
いだから切つて食うべえ」まな板さ
あげて包丁かけたれば中からややっ
こが出てきたど。女の子であつたど。
「ああーら良かったおらだつ子持たづ
だがあ神さまのお授けだあ」大喜び

で瓜姫と名付けて大事に大事に育て
たど。だんだんずなぐなつて三人で
賑やかに暮らしていだど。したれば
瓜姫がはた織つてみたいなんていう
もんだがらじー様ははた織できるよ
うにこさえてくつちやど。毎日トン
トンカラリと織つてだど。
ある日いつものようにじー様ばー
様出ていくに「瓜姫山からアモノジャ
クが来つかもしんにえがら戸は決し
て開けんなよ」つて出て行つたど。
したればちげえねえ。アモノジャク
が来て「瓜姫はた織り見でえがら一
本指入るほど開けてくろお」づう「開
けらんにな」開けてくろお」づう
開けてやつと「頭入るほど開けてく
ろお」づう。こんだ「体入るほどお」
なんてきかねえがら負けて開けたら
ばガラリ開けて瓜姫んどごむしゃむ
しゃ食つてアモノジャクは山さ行つ
つまつたど。そこさじー様ばー様一
足遅く帰つて来て「瓜姫瓜姫今来
たあ」つて見たげんじよ瓜姫はくわつ
ちえしまつて「あんなに戸を開けん
なよつて言つたのにおらだづ遅がつ
たから悪がつたあ」二人は泣いても
泣いても帰つて来ない。本当に楽し
かつた夢と思つて仕方なく二人仲良
く暮らしたつけどお
ざーつと昔、さげえだ

「体がだるい」「咳が治らない」...

それって結核かも

結核予防週間

9月24日～9月30日

結核は過去の病気ではありません。県内では平成22年に247人の方が新たに結核を発症しています。そのうち、約6割が65歳以上の方です。結核は人から人にうつる感染症で、気づかずに周りの人にうつしてしまうことがあります。結核は早期発見・早期治療により治すことができます。関心を持ち、正しい知識を身に付けましょう。特に高齢者の結核は発見されにくい特徴があります。65歳以上の方は、年に一回胸部レントゲン検査を受けましょう。

宮下病院から健康のススメ

中気と脳卒中



紺野 武彦 医師

先日豪雨災害におきましては、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回は私の専門である脳関係のお話をさせていただきますと思います。

診察をしていると年配の方から「中気になんであんめえか？」とのご質問をしばしば受けます。中気とは若い方にはあまりなじみのない言葉ですが、一般的には脳卒中のことを指します。卒中の語源は「卒（にわかに）中（あた）る」の意味で、中気とは「悪い（冷たい）気が中って倒れる病」というのが元々の意味のようです。

脳卒中は発症の原因により大きく「脳出血」と「脳梗塞」に分類されます。「脳出血」とは高血圧、飲酒、低栄養、加齢による血管の老化などが原因となり、脳の血管が破裂して出血する病気です。一方「脳梗塞」とは脳の血管が詰まる病気ですが、さらに細かく分けると、喫煙、生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症）、動脈硬化性疾患などが原因となり、脳の血管が細くなり血管が詰まる「非心原性脳梗塞」と、不整脈等が原因となって血液の塊（塞栓子）が脳の血管に詰まる「心原性脳梗塞」に分けられます。脳卒中は先に挙げた言葉の意味が示す通り、前触れなく突然に発症するため、いつ病気が起こるかを予測するのは実際には困難な場合が多いのですが、脳卒中をできるかぎり防ぐ方法としては、危険因子となる生活習慣の見直しや基礎疾患（生活習慣病や不整脈）の治療をしっかりと行うことが重要と言えます。

宮下病院では各種生活習慣病の治療の他、脳卒中の迅速な診断に有用な「頭部CT検査」や、脳卒中の危険因子として重要な動脈硬化の程度をみる「頸動脈エコー検査」「PWV検査（脈波伝播速度検査）」も可能ですので、脳卒中についてご心配があれば気軽に相談下さい。

歳時記 萌の会

夕焼けて老杉の陰天を突く	小 柴 盛 雄	汗止めのタオル鉢巻夕厨	小 平 佳 子
とつおいつ無きやるまゝに夏過ぐる	佐 藤 朋 良 子	勝つものと信じた青春終戦忌	志 田 た つ の
墓前にて泥を被りし田の話し	小 柴 六 進 子	井戸端のおしゃべり長し初茄子	小 柴 有 美 子
無人駅列を作つて夏帽子	諸 井 ま さ 子	目薬の余滴の温し田水沸く	片 山 祐 一
白髪を染めて亡夫待つ間火かな	栗 城 幸 子		

町民センター図書コーナー
ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お 休 み 年末年始
●問 教育委員会 ☎ (48) 5599



一般向け
くじけないで
柴田トヨ・文
飛鳥新社

喜びでいっぱいな時も、落ち込んだ時も、温かい言葉で胸がいっぱいになります。女性には素敵な先輩。男性には頼もしいお母さん。愛がいっぱい詰まった詩集をぜひ読んでみて下さい。

本のリクエスト募集中
読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会が検討し、選定された本を購入します。

金子みすゞ童謡集

わたしと小鳥とすずと

金子みすゞ・著
JULA出版

子ども世界、おとなのはじまりの世界は詩の芽でいっぱいだということを楽しく優しく、そして、さみしく、またまた不思議に豊かにうたったのが詩人金子みすゞです。

小学生向け



きんばあちゃんの花見山

あきばたまみ・著
オープンエンド

お花を売るきんばあちゃんの手伝いをするようになったウサギのもも。お花を売るうちに勇気を出すことや、自分に出るの大切さに気付きます。心温まる一冊です。

これからの行事予定 town schedule

9月 7日(水)
敬老会 10:30～ 生涯学習センターカタクリ体育館
9月 8日(木)
弁護士相談 10:00～15:00 福寿草
9月 21日(水)
3町村小学校陸上記録会 金山小学校

地域ふれあいサロン
三島町社会福祉協議会

大石田・高清水・小山合同「グラウンドゴルフ」
9月 6日(火) 9:45～ 美坂高原

川井・滝谷合同「社会見学」
9月 16日(金) 10:00～ 新潟方面

大石田・間方合同「遠足」
10月 4日(火) 10:00～ 新潟方面

川井友愛サロン
10月 13日(木) 10:00～ 川井集会所

☎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

ご寄附
ありがとうございました

町へのご寄附

第一法規(株) 代表取締役社長 田中英弥 様
福島県町村会 様
栗 城 郁 子 様 (宮下)

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

飯 塚 啓 様 (西方)
諏 訪 英 利 様 (浅岐)
加 藤 善 教 様 (宮下)
栗 城 博 人 様 (宮下)

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

☎ 町民課 ☎ (48) 5565

4 カ月児健診

9月13日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳がん健診

10月 6日(木) 町民センター

足腰げんき教室

◎室内運動編
9月 6日(火) 13:30～ 町民センター
10月 11日(火) 13:30～ 町民センター

◎水中運動編
9月 27日(火) 13:00 町民センター集合
西会津町民プール

機能訓練会

9月 28日(水) 14:00～ 福寿草

心の健康相談 (※事前申し込み必要)

9月13日(火) 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。
「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



☎ 地域政策課
美しい村づくり班
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では7月中、刑法犯の発生は2件ありました。

自転車の鍵
かけてますか！？

2重ロックをしてください

会津坂下警察署管内において、公共施設駐輪場などでの自転車盗難が少しずつ増加しています。盗難に遭っている自転車の特徴として、以下の特徴がありました。

- ・無施錠
- ・鍵をかけたが1箇所のみ

2重ロックしていた自転車が盗まれたという届け出は、今年度に入ってからありません。学生のお子さんがいる保護者の皆さまはせっかく入学祝などで買ってあげた自転車を盗まれないためにも、適切な施錠を行ってください。

施錠のポイント

- ◎もう一つ鍵を増やす (二重ロックにする)
- ◎鍵をかける習慣づけをする

街頭犯罪発生状況 (1～7月)

区 分	管内	三島町
空き巣狙い	6	
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	2	2
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	10	
自販機狙い	1	
車上狙い	6	1
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	29	3
全 刑 法 犯	60	4

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

「国税に関する申告・納付等の期限」について

国税局・税務署からのお知らせ

東日本大震災の発生に伴い、国税に関する申告・納付等の期限を延長していましたが、町内の納税者の方については、平成23年3月11日から9月30日までの間に到来するすべての国税の申告・納付期限は以下の通りになりました。

平成23年9月30日(金)

また、9月30日までに申告所得税や個人事業者の消費税及び地方消費税に係る平成22年分の確定申告書を提出した方で振替納税をご利用の方の振替納付日は、平成23年10月31日(金)となります。

◎申告等の手続きが困難な方

東日本大震災による被災により、9月30日までに申告・納付等の手続きが困難な方については、個別に期限の延長が認められますので、状況が落ち着いた後、最寄りの税務署にご相談ください。

◎申告・納付等の義務のない方

申告・納付等の義務がない方でも、震災特例法により、震災により住宅や家財などに損害を受けた個人の納税者の方は、確定申告を受けることにより、所得税の還付を受けることができる場合や、自動車重量税の還付を受けることができる場合があります。

☎会津若松税務署 ☎ 0242 (27) 4311

無料法律相談開催

県弁護士会・地方裁判所・家庭裁判所

10月1日は「法の日」です。裁判所では10月1日から7日までを「法の日」週間とし、全国で法律の重要性を深める活動をしています。その一環として、下記内容で弁護士による無料法律相談を開催します。

◎日時
9月30日(金) 10:00～15:00

◎場所
福島地方・家庭裁判所 会津若松支部構内 弁護士待合室
会津若松市追手町 6-6
☎ 0242 (27) 0624

三島町の人口と世帯
(8月1日現在)

人口	1,997	-8	出生	0
男	952	-5	死亡	3
女	1,045	-3	転入	6
世帯	835	-6	転出	11

※住民基本台帳による数値です。

労使困りごと相談会

福島県労働委員会事務局

県と福島県労働委員会では、皆さんの職場の賃金や労働条件をめぐる労使間の困りごとについて、出張相談と電話相談を行います。また来所、メールでの相談も受け付けています。相談料は無料で、秘密は厳守しますので、ぜひご利用ください。

<出張相談>

◎日時
10月1日(土) 10:00～15:00

◎場所
会津若松市生涯学習センター
「會津稽古堂」

<電話相談>

◎期間
10月3日(月) 8:30～
10月7日(金) 18:30まで
☎ 024 (521) 7594

☎福島県労働委員会事務局
福島市杉妻町 2-16 県庁西庁舎 8階
mail : labour-rc@pref.fukushima.jp

世界中の人たちが同じ情報をいつでも得られる時代。だが、ここにしかないもの、ここにしかない暮らしはここでしか語り継がれない。交流センター山びこを拠点に地域の歴史、人々の暮らしの文化など三島町に関する「記憶」をつづる。

地域の記憶をつづる②

松原の盆踊り甚句唄

交流センター山びこ



唄い手の佐々木邦雄さん

松原の盆踊りで甚句を唄い続けている佐々木邦雄さん。以前は、阿部トメノさん、海老名五郎さん、片山祐一さんと唄っていた。佐々木さんは二十六年前に阿部静夫さん、片山信雄さんに謡曲を習い、それから盆踊りで甚句を唄うようになった。

現在、佐々木さんが唄っている甚句は松原地区で昔から唄われている甚句と他の地区の甚句、会津磐梯山である。佐々木さんは、公民館発行の「じいちゃん・ばあちゃん」の伝えたいことあれこれに記載されている甚句唄を参考にし、そこに書かれていた松原地区以外の甚句を含めて、六十九の甚句をまとめた。

今回、佐々木さんがまとめた甚句の書かれた紙を写真に収めることが出来たので、六十九句の一部を紹介したい。

松原の盆踊り甚句

一、祭りヤア〜うれしや広がる踊り 村の広場も狭くなる
一、盆のヤア〜十六日今晚限り 明日の晩から籠の鳥
一、俺がなあ〜若いころ 二十四、五の頃 蛸みたいに光らせた
一、盆のヤア〜十六日ハスの花も 開く 子持女も出て踊れ
一、家もヤア〜車もお金もできた あとは息子の嫁ばかり
一、とてもヤア〜良い音だ貴方の 声は 三坂高原蟬しぐれ
一、俺らがヤア〜若い頃柳津まで 通った 麻生あたりで夜が明けた
一、祭りヤア〜うれしや遠くの人 も わしの甚句を聞きに来る
一、俺らがヤア〜若い頃柳津まで 通った 阿久津あたりで夜が明けた
一、踊りヤア〜踊るならしなよく 踊れ しなの良い娘を嫁ととる
一、声のヤア〜かれたとき馬のケツなめろ 馬のケツから声が出る
一、恋しヤア〜なつかし生れた里 は 朝の煙もなつかしい
一、これでヤア〜別れがおなごり おしい 又の逢う日を楽しみに



1

盆踊り

西方地区



2

西方地区の盆踊りは、毎年墓参り翌日の夜に、ふるさとセンター前の広場で行われます。今年は8月14日に行われました。

西方地区の盆踊りは盆まつり実行委員会の方々が主体となつて企画されます。当日は地区の消防団の皆さんも準備と運営に協力しました。当日は朝6時から、やぐら立てが始まります。西方地区のやぐらは町内でも一番の規模を誇ります。その分、組み立てる作業は大きいです。しかし何十年も続く盆踊り。やぐら立ても朝飯前で終わってしまいました。

夜は消防団の協力で、焼き鳥と生ビールが販売され、盆踊りを盛り上げました。8時を過ぎると、多くの人が太鼓と笛の音に誘われ、やぐらに集まります。踊り手も増え、踊りの円は一段と大きくなり、歌い手のマイクにも力が入ります。

年に一度、みんなが楽しみ集まる盆踊り、参加する人の笑顔のために、今後も大切に受け継いでいこうとする地区の方々の熱意を感じました。



5



3



4

1 西方地区の盆踊りの様子。ふるさとセンター前には多くの人が集まり、盆踊りに参加する 2 マイクを握る小柴久男さんと小平廣市さん。小柴さんの甚句は地区の名物。小平さんが歌うと笑いが絶えない 3 太鼓をたたく飯塚秀市さん。太鼓の名手。撥を持つ姿がリリしく輝く 4 笛を吹くのは山垣光英さん。笛の音色に誘われるように人々が会場に集まってくる 5 山内大介さんの力強い太鼓。太鼓の響きに人々の気持ちが高揚する

私の「撮」っておき！！ 写真コンテスト

町制50周年を記念して、交流センター山びこにて写真コンテストを開催します！

今回の写真展は、7口の日線ではなく、一般の方のそれぞれの目線からみた風景や景色、大切な人、大切な思い出などあたたかみのある写真を皆さまにご覧いただきたいと思っています。昔の写真や思い出に残っている写真、普段の何気ない一瞬、おもしろい写真などなんでもOK！！小さなお子様からお年寄りの方まで、どなたでも結構です。ぜひご応募ください！！

◆募集期間 平成23年8月13日（土）～10月30日（日）

◆お問い合わせ 三島町交流センター山びこ（0241-52-2165）
または三島町生活工芸館（0241-48-5502）

詳しくは募集要項をご覧ください。



小さいころの思い出や、風景写真、
おもしろい写真など、あなたのこころに
残る1枚をぜひ投稿してみませんか？
たくさんのご応募お待ちしております☆

▼お盆は一年のうちで地区に最も活気が戻る時。里帰りをした同級生と一年ぶりに顔を合わせて話す数少ない機会です。道端では、再開を喜ぶ声があちらこちらから聞こえてきます。昔一緒に遊んだり、勉強した友達が、子どもを抱いて盆踊りにやってくる。みんな大人になって家庭を築いているんだなあと感じる瞬間です。ふるさとや田舎は誰にでもあるわけではありません。これから、年に一度はみんな帰ってきてほしいと感じました▼7月に発生した豪雨被害。徐々に只見町、金山町での被害状況が見えてきました。ダムの下流付近は、特に被害が大きく、家屋や鉄橋までも流され、至ること所で瓦礫が散乱しています。まるで大震災で襲った津波の被害を見ているかの様です。苦しい状況は続きますが、大切なものは一つ一つの積み重ね。そう渡部三穂さんから教わり、これからの生きる糧になった気がします。

編集後記